

■桜井建設の ZEH への取組

■ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは

ZEH(ゼッチ)とは、Net Zero Energy House(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の略で、快適な室内環境を保ちながら、断熱性能の優れたエネルギー消費の少ない<高断熱住宅>に、省エネルギー性の高い<高効率設備(エアコン、給湯器、照明設備など)>を導入し、太陽光発電などの<創エネルギー設備>を導入することにより、正味(ネット)で一次エネルギー消費量がゼロになる住宅のことです。

日本政府が定めた「エネルギー基本計画(2014年4月閣議決定)」においては、ZEHの実現・普及について、

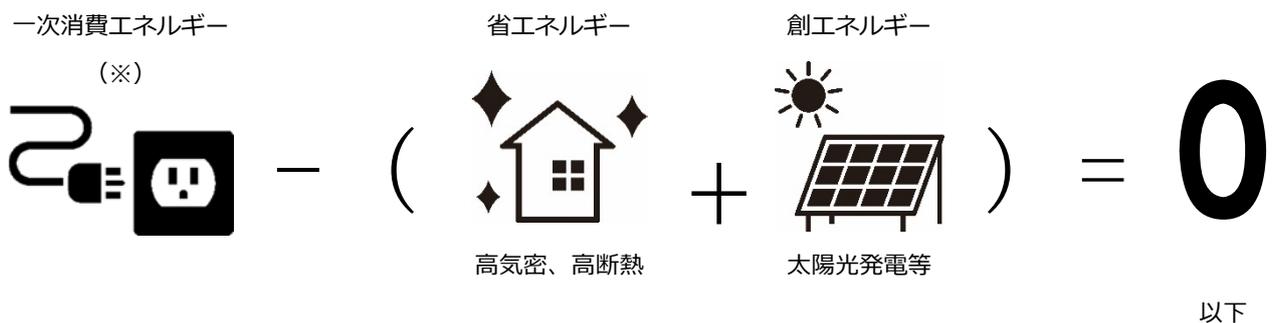
2020年までに、標準的な新築住宅で ZEH を実現

2030年までに、新築住宅の平均で ZEH を実現

上記の様な目標値を設定して、国をあげて取り組んでいく事になりました。

桜井建設株式会社でも企業一丸となって ZEH の普及拡大に取り組んで参ります。

■ZEH のイメージ



(※)一次消費エネルギーとは:家庭で使用するエネルギー(冷暖房、給湯、換気、照明)を、発電所での化石燃料の熱量に換算したものです。ZEHではその他の生活家電(レンジ、TV、冷蔵庫等)は含みません。

1. 年度ごとの普及目標

	2016年度目標	2017年度目標	2018年度目標	2019年度目標	2020年度目標	2025年度目標
ZEH 受託率	3%	10%	20%	30%	50%	50%
ZEH 実績	0%	0%	0%	0%	0%	

	2016年度実績	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績
住宅建築総数	5戸	1戸	0戸	1戸	2戸
ZEH/NearlyZEH 総数	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸

※改修工事・増築工事は含んでおりません。

2. ZEH の周知・普及に向けた具体策

- ・ZEH にすることのメリット(光熱費の削減など)を明示します。
- ・ZEH 住宅を建設した際には、可能な限り内覧会を開催します。
またその際にはその住宅性能をパネル展示し、来場者にメリット(光熱費削減、設備解説、健康作用)を提示します。

3. ZEH のコストダウンに向けた具体策

- ・一次エネルギー消費量計算を外注せず、自社対応することで設計にかかる費用を抑えます。
- ・物件個々に性能値を分析し、都度最適な仕様にするコストダウンを図ります。
- ・仕様・設備の規格化を図り、発注メーカーを限定する等、仕入れコストの削減を目指します。

4. その他の取組

- ・各種研修会への積極的参加を図ります。
- ・地域性を活かしたパッシブ設計を取り入れ、自然の光や風を利用した省エネを提案します。
- ・高気密・高断熱住宅がもたらす、健康性・快適性・遮音性・安全性といった省エネ以外の便益も提案します。